



第3回九州大学基幹教育シンポジウム

ラーニングアナリティクス(LA)による アクティブラーナーの育成

—— 教育ビッグデータをどう活用すべきか? ——

定員
500人
参加費
無料

近年、デジタル教科書やe-Learning等の情報システムを活用した講義のみならず、アクティブラーニングや反転学習による講義など、教育の多様化が促進されています。そのような中、九州大学は、2014年4月から、「アクティブラーナー」の育成を教育目標に掲げ、「基幹教育」を開始しました。特に、アクティブラーナーとして、生涯にわたる自律的に学ぶ姿勢を身につける過程においては、「何を学習したか」ではなく、「いかに学習したか」という学習のプロセスが重視されます。

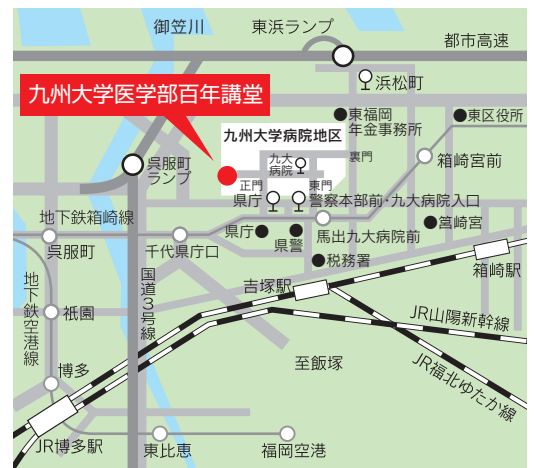
九州大学では全国に先駆けて、学生所有PC必携化(BYOD: Bring Your Own Devices)を推進し、教育情報システムを用いて学習活動のプロセスを記録することにより教育ビッグデータを構築し、それを分析する、ラーニングアナリティクス(LA)を実践しています。2016年2月には、LAセンターを日本で初めて設立し、全学的に教育ビッグデータの利活用に取り組んでいます。さらに、科研基盤研究(S)「教育ビッグデータを用いた教育・学習支援のためのクラウド情報基盤の研究」(研究代表者:緒方広明)に採択され、2016年11月には教育データサイエンス基盤研究センター(EDS)の設立を予定しています。

本シンポジウムにおいては、デジタル教科書などの教育の情報化に関する国の政策の動向や、それらの情報基盤を用いたLAの最新の研究動向を紹介し、教育現場での一つ一つの改善のみならず、教育全体の改革に向けて何が必要かを皆様と考えてみたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

2016.11.23 水祝 九州大学医学部百年講堂
病院キャンパス 〒812-0054 福岡市東区馬出3丁目1番1号

プログラム(司会: 山田 政寛 九州大学基幹教育院 准教授)

- 13:00 開場
13:30 開会
- 第1部 LAの実践**
挨拶 ▶ 九州大学 理事・副学長・基幹教育院長 **丸野俊一**
基調講演 ▶ 文部科学省 研究振興局 参事官(情報担当) **榎本 剛**
「AI/ビッグデータ研究と教育改革への期待」
特別講演 ▶ 東北大学大学院情報科学研究科 教授 **堀田龍也**
「デジタル教科書に関する政策動向とLAに対する期待」
講演 ▶ 九州大学基幹教育院 教授 **緒方広明** 「九州大学におけるLAの取り組み」
<休憩15分>
- 15:30 **第2部 LAの研究**
挨拶 ▶ 九州大学 理事・副学長 **安浦真人**
特別講演 ▶ 京都大学情報環境機構IT企画室 教授 **梶田将司**
「LAによる教育学習活動支援のための情報環境と研究開発」
特別講演 ▶ 北海道大学大学院情報科学研究科 教授 **杉本雅則**
「センサーデータの利用とLAへの期待」
講演 ▶ 九州大学基幹教育院 准教授 **島田敬士** 「学習活動のリアルタイム分析」
<休憩15分>
- 17:00 **パネル討論** 司会: 緒方広明 パネリスト: 講演者全員
18:00 閉会



- 西鉄バス利用 「九大病院」下車 徒歩7分
- JR利用 「吉塚駅」下車 徒歩15分
- 福岡市営地下鉄利用 「馬出九大病院前駅」下車 徒歩10分

▼ 問い合わせ

九州大学基幹教育院事務局 〒819-0395 福岡市西区元岡744
E-mail ▶ sympo@artsci.kyushu-u.ac.jp

▼ 参加申込

以下のホームページからお申し込みください。
<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp>
<http://goo.gl/yN9AJC>

申し込み締め切り

11月20日(日)